



初代会長 上原さと様

かさおか

発行所
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)
電話 66-1311

笠岡大教会創立百十周年

三年千日スローガン

諭達を實踐し、をやの理を戴こう

本年の實踐項目

おさづけの取り次ぎ

初代上原さと様が、笠岡へお帰りになつて靈救を頂いたのは、金平糖の御供であつた。初代は、身上の人に御供を渡し、奉祀していた神様に添え願いをして次々と御守護を頂いた。明治二十一年、おちばへ帰りおさづけを拝戴してからは、おたすけに一層の拍車がかかり、明治二十四年笠岡支教会が設立されたのである。

陽気ぐらし講座と百万軒にをいがけ

初代は、称念寺橋のたもとの借家に上原家を構え、世すぎの道として小間物屋を営んだが、おたすけが次々とあがるようになって、朝早くから夜遅くまで、笠岡の街中は言うに及ばず、新山・追分・金浦・陶山・茂平、あるいは、園井・大島と足を運んだ。笠岡の道は歩いて歩いてついた道と初代は後年話したが、私たちも、その歩みをこの一年を通して我が物としたい。

一万人のおちばがえり

笠岡の別席団参は、教内で有名であつた。また私達の信仰の源は、おちばである事を考えれば、おたすけに歩いた足で、しつかりとそれ以上におちばに運ばして頂きたいものである。明治二十七年、御本席のご来臨が頂けたのも、初代がおちばへおちばへと交通不便の中、運んでいた賜である事を思えば、私たちは、おちばへ運ぶことによつて、見えない大きな徳を頂戴できるのである。

旬の動き

時には喜びを与えて 下れるチラシ配り

葦陽分教会長 笹尾 正治

”只今帰りました”。
いつものよふぼくNさんとチラシ配りから帰って来た家内の声が、いつになくはずんでいた。

”会長さん、今日は話を聞いて呉れたよ”とうれしそうに云った。

家内の云うには……教会からさほど遠くないある喫茶店に入った。”こんにちは天理教の者ですがこれを読んで下さい”。気むずかしいマスターがチラシを受取るうともせず”あんた等みたいな宗教をする人間がいるから世界中で戦争が止まらないのぢや(民族宗教戦争の事らしい)。わしが発起人で宗教反対運動を起そうとしとるんぢや”。店を出かけたら、一人だけ居た常連らしいお客さんが”それは何か?”と呼び止めて呉れたので、天理教の者ですと云ってチラシを渡すと、”あ、おミキばあさんか”。家内はいきなり”この教えは天然自然の教えを説いているんです”と、女中

かの一件から浮ぶまゝに教祖のひながたを話しまくったら、マスターはだまって聞いていた。

最後に”こんな教えで戦争の起るわけがないでしょう。他の宗教と一緒にしないで下さい”と話し終ったところへ次のお客さんが入って来たので、店の邪魔をしてはと”お邪魔しました。又来させて頂きます”と云ったら、マスターは”もう結構”とも”来んで呉れ”とも云わなかった。

”……と、とてもうれしそうに話した。

なかなか結果の見えないチラシ配りではあるが、神様はたまには喜びを与えて下さる。

現在、当教会では毎月月次祭に、10人余りの人に大教会より頂くチラシを大きい茶封筒に名前を書いて(人によって枚数が違う)おみやげとしてお渡ししている。

当初、百万軒にをいがけをお打出し頂いた時は、私自身、「お道独特の数字へのこだわり、出来るわけがない、続くわけがない」と思つたものである。

所が「毎月チラシをもらって帰らなければならぬ、毎月配布数を報告しなければならぬ、これはとにかく配るしかない」と思い、みなさんにもお願いした。

今迄は年一回の全教一斉にをいがけデー一日だけ、みなさんにお願ひしてなんとか格好だけつけていた。

考えてみると「よふぼくとしてにをいがけは当

然の事であり、チラシを配る

だけでもたすけ心を育み、成人へとつながらる」と今さらのように思えた。

チラシ配りはなかなか結果が見えない

が、先日、チラシを読んで思いが変わつたとの札状(別掲)が教会にとゞいた。又朝の太鼓の音で朝起きをし

ているとの事、うれしかった。

無駄ではないんだと朝のおつとめにも力が入る日々である。

葦陽分教会に届いた手紙

前略。

先日、ポストの中を見ますと、天理教葦陽分教会様よりのお便り”日々に嬉しい種まき”と題しておりますパンフレットがありました。持ち入り、

実践項目集計 (1月分)

おさづけ=	5,	679	回
にをいがけ=	100,	352	軒
おぢばがえり=	1,	335	名

夕食後、ゆっくりと机の前で読みますと、文面は誠にうなづくことばかり。『心の持ち方』について、学ばせていただいた——という思いです。私は一主婦で、これといった得手とするものもなく、ただ毎日、家事や雑務に追われ過ごしている者ですが、それでも、思いや感情で、ひとり、何故だか、心にかかることあれば、しばらく苦しみ、どうしようもないことがよくあります。

人間、生きることはしんどいことです。

確かに、しんどいことではありますが、すばらしく、又、美しいものでもあろうかと思えます。私の周囲を見渡せば、人それぞれ、喜怒哀楽、実に様々な思いを抱えて生活している人がいっぱいいて、生きていますと、それは当然のことと言えるでしょう。

でも、このパンフレットの中の文字、一行一句、目を通していただき、このような考えや見方で、日々過ごしてゆくことができるのなら、自分としてどんなに楽で幸せなことでしょうかと気付かせていただきました。

もう人をうらむのはやめよう、怒りはすてようと思つてるところです。自分で楽しみを見出し、心安らかに、これから明るく向かってゆこうと思つている次第です。ありがとうございます。

葦陽分教会様から、朝、かすかに太鼓の音が聞こえてくるようです。早朝よりお祈りをされておられる、そう思つてぼつぼつ起きる支度をしております。

雑書きになり申し訳ございません。

このパンフレットは大切にとっておきます。心がすきんだ時、思い出し、そして、時々、読んでみます。

寒さまだ厳しい折、どうかお体大切にされますよう。皆様のご健康をお祈りいたします。

突然のお手紙を差し上げ失礼をいたしました。

桜馬場町

一主婦

陽気ぐらし講座実践の喜び

油木分教会長 黒瀬修 式

陽気ぐらし講座については大変良い事であると思いつらも、さて各教会での開催となれば何かと重たく感じていました。

しかし、もうどうでもと云う事態を迎えて種々考えを練り、あげくに同地区内の知人をたずね話しましたところ、快く受けて下さり、呼びかけ人集め等その上での働きに協力を頂いて、開催の日には先生を会場(百楽荘老人クラブセンター)へ案内し共に迎えられて、講師の先生のお話には感銘深く大変喜ばれ誠に好評でした。

老人大学の集いの方々二十名、未信者。

そして後日、老人会長から先生に御礼状が出され、先生からも我教会へお喜びの声を頂き、大きな喜びと安心を得て親の理を頂く事の有難さを痛感致しました。

そして次回への望みを託し、以前より再三云われて居りました隣村、豊松村(教会布教所無し)での開催に当り、度々の運びもはかどらず期日せまり来る中、成すすべにも事かく時、当村内に住む我教会の信者の協力を得て、やつと来る三月十八日の開催の運びとなりました。

初の開催の時には大変結構に順調に事が運んで思わぬ盛況に感激し、そのまま、調子に乗つて居りました。

何事も苦勞が大切で苦惱しただけ喜びも深く味わいも濃く、冷静なる時、改めて親神様の深い親心が感じられ、遅々として進まぬ我心の成人のにぶさを思い知り誠に申しわけなくお詫び申し上げます。前向きの進行へと急ぎ居る日々でございます。

婦人会委員・委員部長 研修会 報告

婦人会委員、委員部長研修会が、去る二月二十一日午後より、翌二十二日昼迄、開催されました。毎年、恒例の行事ではありますが、大教会祭典日という事もあり、何かと出にくい中でしたが、三十余名の参加を頂きました。

まず、支部長様より、我々、道の台として又、各々委員部長としての日々の通り方、教会において頂く立ち場としての心の持ち方など、婦人会長様の思いに添つて、心を込めて分かり易く、お話

し頂きました。

続いて、大教会長様からは、「理」の大切さを、
 “十全のご守護”の上から悟らせて頂くようにと、
 厳しくもあり又、例にとつて、分かり易くお聞か
 せ頂き、改めて、心の在り方をお教え頂きました。

その後、今年は、何年ぶりかの移動例会とい
 う事で、マイクロバスと乗用車に別れて移動し場所
 を変えて、夕食を囲みながら、親睦会を持ち、楽
 しい一時を過ごしました。

翌日は、日本三大庭園の一つであります「後楽
 園」を見学し、昼食後、解散致しました。

この度の研修会は、例年と違つて何より、大教
 会長様・支部長様の親心から、移動例会を計画し
 て頂き、思う以上に参加頂けたのではと感じてい
 ます。

十一月二十九日、大教会創立百十周年という大
 きな旬を目前にしてのこの研修会でお聞かせ頂い
 た、数々の親の思いをしつかりと、心において、
 話だけで終わらせる事なく、日々を通して頂き
 たいと存じます。

教会長おやさと講習会第3次受講者
 興明、芳井、吸江、輝美濃、皆部、
 明石市、府中市、東城、島中、驛家、
 油木、葦陽、備中、神昭、美之郷、
 錦備、照雲、錦ヶ原、河佐、上川邊、
 甲井、上父、阿木行、宇津戸、河面、
 神驛、神免、葦沼。

Faith & Mind-Essay
心の通ひ路

おちばの方向

福節分教会 藤井治喜

少し前の事ですが、おちばへ帰らせていただ
 うと思ひ 福山から高速バスに乗りました。

お陰さまでここ数年 観光バス以外はバスに乗
 ることもなく、高速バスも その日初めて利用さ
 せていただきました。

その日は、かなり早起きをして 停留所へ行き
 ました。待合には あまり人影はなく、それで
 も私を含めて三四人の人が、同じ始発便の大阪行
 を待つているようでした。

そこへ ライトを照らして白い大きなバスが
 やつてきました。バスを待つていた人は、皆足
 早にそれに乗り込んでいきました。私も少し慌て
 て 皆の後に付いて そのバスに乗りました。

車内は広々としていて 少ない乗客は、皆思
 い々々のところに座っているようでした。私は一
 番後ろの席に座り、これから数時間の一人旅を楽
 しむこととしました。

暖い車内は、とても心地よく 安心して 睡魔
 にいざなわれることとしました。・・・しばらく
 くして辺りをうかがうと 外は 雨模様でした。

夢見心地で見る外の景色は、少し見慣れないよう
 にも映りましたが、目線が違うからだろうと思っ
 ていました。

その時「次は本郷」という車内放送が聞こえて
 きました。「ホンゴウ? そんなところがあつた
 かな・・・」とぼんやりと考えているうちにあ
 る疑念が湧いてきました。そしてその疑念は、次
 の車内放送とともに 恐ろしい現実となつてしま
 いました。

次々と到着予定時刻を告げだしたのです。そし
 て 終点を「広島」と告げた時には、睡魔も 安
 心も 心地よさもどこかへ飛んでいつてしまい、
 一人旅を楽しむどころのさわぎではなくなつたの
 です。

思い返せば、福山で予定時刻より二三分早いよ
 うな気がしたのだが、皆が行くままに 後につい
 てバスに乗ってしまった。広島行とも知らずに
 大阪行と思ひ込んで 信じて疑わず乗ってしまった
 のです。これに乗れば、おちばの方へ向いて行
 くんだと思ひ込んで 全く反対の方向へ行つてい
 たのです。

バスや 乗物ならたやすく方向を変えられもし
 ますが、これが 人生や信仰でしたら 気がつい
 た時には大変なことになるのではないのでしょうか。
 信仰の方向を間違えないように 素直な心で
 親の声に耳をかたむけたいものです。そして 他
 人にも間違えのない 親の方向を伝えたいもので
 す。

二月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の前に会長上原理一慎しんで申し上げます

親神様の子供かわいい一条の親心と自由の御守護によりまして日々は結構に恙なくお連れ通り下さいます事は誠に有難いことと喜ばせて頂いております 殊に我さい良くば今さい良くばの風潮の中にあつてそれに流される事なく常に親心を感じ御守護を感じてご恩報じとしてたすけ一条の上に邁進させて頂けますことは考えてみれば実に有難い事の極みで御礼の申し上げようもございません 私共はより感謝の思いを強めて本年申し合わせた実践項目の実動の上に勤めさせて頂いております

その中に今日の吉日は二月の月次祭を執り行う日柄でございますので只今からおつとめ奉仕者一同喜び心も一入に明るく陽気に勇んで座りづとめてをどりをつとめさせて頂きます 暦の上ではすでに春とはいえまだまだ寒さ厳しき中をも厭いませず寄り集いました道の子供達が相共にお歌に唱和し御前に伏し拝む状をご覧下さいまして親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて世上では親が我が子を虐待したり死に至らしめる等人を人と思わないような痛ましい事件が多発しておりますまさしく

たんくとをんかかさなりそのゆへハ

きゆばとみへるみちがあるから の姿が表に現れているような感があるのであります がそれを陽気ぐらしへと導くべく一列の子供が兄弟の理に目覚めて助け合う事の大切さを思い起こさせる為に “かみなりもぢしんをふかせ水つき” に現さなければならぬ親の残念を思います時何とも言えぬ申し訳なさを感ぜずにはおれませんが それと共になんとかその思いに応えさせて頂きたいものと本年の実践項目の実動を通してよふばくお互いのたすけ心を少しでも多く使わせて頂くことよって助け合いの理を人々の心に映させて頂く所存でございます

何卒親神様には旬の理に添い親心にお応えする皆の真実誠の心をお受け取り下さいましたすけ一条の上にも尚も自由の御守護をお現し下さり人々が助け合いの理に目覚めて一日も早く陽気づくめの世の状に立て替わりますようお願いの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます

ふたこと
みこと

論達に教えに基づく生き方を心掛けようとお示し頂いているが「用いねば痛い目に合う(？)」という事を身をもつて教えて頂いた。

先日、車でチラシ配布に出掛けて、デパートの駐車場に止めて、さあにをいがけという所へガードマンが「無断駐車になる」とクレームをつけに来た。車のことからカーと来て「買物するかどうか分からないじゃろう。あんた何言うとなー」とひと理屈言い返してやった。

以前ある先生がチラシをポストへ入れるのは誰か分らんのだから覆面しているのと同じと仰有ったが、正に「覆面居直り無断駐車犯」と化してしまつた。

後から何か、もやもやしてすつきりしない。おまけにチラシ配布中、門続きの植木囲いのレンガで左すねをいやという程ぶつけてしまった。

痛い足を引きずりながら、あの時、向うからにをいにかかりに来たのだから、一応謝って「私達は天理教の者で陽気にくらす方法を伝えて、たすかつて頂きたいとこの近辺を廻らせて頂くところです。どうか一時間程、止めさせて下さい。」と言葉が出ていたらどの様に展開したか分からない。教えに基づく生き方を心掛けるとは、自分は何木であるということよ四六時中忘れない事だと思つた。

春の鼓笛会宿

日程 3月31日 午後1時 受付、1時30分 開講式
 (各目、昼食は済ませて集合してください)
4月 3日 午後3時 解散予定
参加御供 2,000円
携行品 楽器・筆記具・宿泊道具・防寒着

婦人会総会

4月19日に婦人会総会が開催されます。婦人会長様が御身上であることも思案し、昨年の90周年同様の参加者が募れるようご協力をお願いいたします。
 各委員部長が漏れなく参加できますよう、教会のご協力もお願いいたします

青年会全部属分会委員長研修会

と き 4月21日～22日
集 合 4月21日午後7時受付、7時30分開講式
解 散 4月22日午後2時30分予定
内 容 青年会本部委員挨拶、活動目標発表、分会活動報告、神名流し、練り合い等

全分会委員長が欠けることなくつとめられますように、各委員長に連絡を取らせていただいておりますので、各教会におかれましてもご協力をよろしくお願いいたします。

少年会おつとめまなび総会

と き 4月29日(日)
と ころ 大教会
内 容 おつとめまなび、総会式典
 アトラクション(ドッジボール大会)

・歌・詞・募・集・

笠岡大教会創立百十周年実行委員会では、「かさおか」をテーマにした歌の歌詞を募集いたします。

形式は自由。6月20日必着で、大教会内「実行委員会」宛送付ください。

応募の中から選出した適当な詞に曲をつけて、記念祭の舞台上で披露されます。